

1. この作品について

●このペーパークラフトは、あかつきの一ファンが趣味で製作したものです。設計はインターネット上にある探査機「あかつき」フライトモデルの写真や CG を資料とし、採寸して行いました。このたび、宇宙科学研究所教授・佐藤毅彦先生のご厚意により 2012 年 7 月 27, 28 日の JAXA 相模原キャンパス特別公開にて配布されることになりました。このような形で作品が利用されることはたいへん光栄で、とても嬉しく思います。

●部品名称は分かる範囲で極力記載するようにしましたが、名称のわからなかったものは α β γ ... でごまかしました。これらはあくまで素人が個人レベルで調べたものにすぎないので、誤りが含まれている可能性があります。表記の誤りや組立て上の不具合、その他お気づきの点があれば作者までご連絡いただけると幸いです。

●2010 年 12 月 7 日の金星周回軌道への投入失敗は残念でしたが、なんとか再挑戦を果たし、日本初の惑星周回探査機を実現してほしいと願っています。このペーパークラフトはそんな「あかつき」を応援する気持ちで作りました。僭越ではありますが、この作品を「あかつき」をはじめとする日本の宇宙研究・宇宙開発を応援する全ての方に捧げたいと思います。

2. 組立てについて

●組立ては部品番号順に行うのが良いと思います。細かい部品が多いためピンセットを使うなどして慎重に組立ててください。基本的には切取り線に従って部品を切取り、折り線に従って折り目を付け、のりしろをのりづけして組立てていきます。厚い紙に印刷する部品の折り目はカッターなどで軽く筋を入れ、折りやすくすると良いと思います。のりづけには木工用ボンドをおすすめします。

●素人設計のため紙の厚さを十分考慮できていませんので、多少の調整が必要になる部分もあります。適宜工夫してください。

●雑で申し訳ありませんが手書きの説明メモを付けていますのでご参考ください。

3. 図中の記号について

	太線:切取り線
	細線:あたり線・模様線
	破線:山折り線
	一点鎖線:谷折り線
	のりしろ
	切抜き箇所
	のりづけ箇所

- 谷折り線はわかりにくいため、矢印と文字でも示しています。
- 「折返して貼付け」と書いている部品は指定の線で折返し、裏面同士を貼合わせてください。
- 「裏面を黒く塗る」と書いている部品は裏面をペンなどで黒く塗りつぶしてください。
- 一部部品（カメラ）にのりしろではない赤丸（模様）がありますのでご注意ください。

4. 連絡先・ブログ

- 稚拙ながらブログをやっています。自作のペーパークラフトを公開している他、製作記なども投稿しています。よろしければ御覧ください。
- 表記の誤りや組立て上の不具合を発見された方、部品の正式名称をご存知の方はご連絡いただけると幸いです。また、感想もお待ちしております。

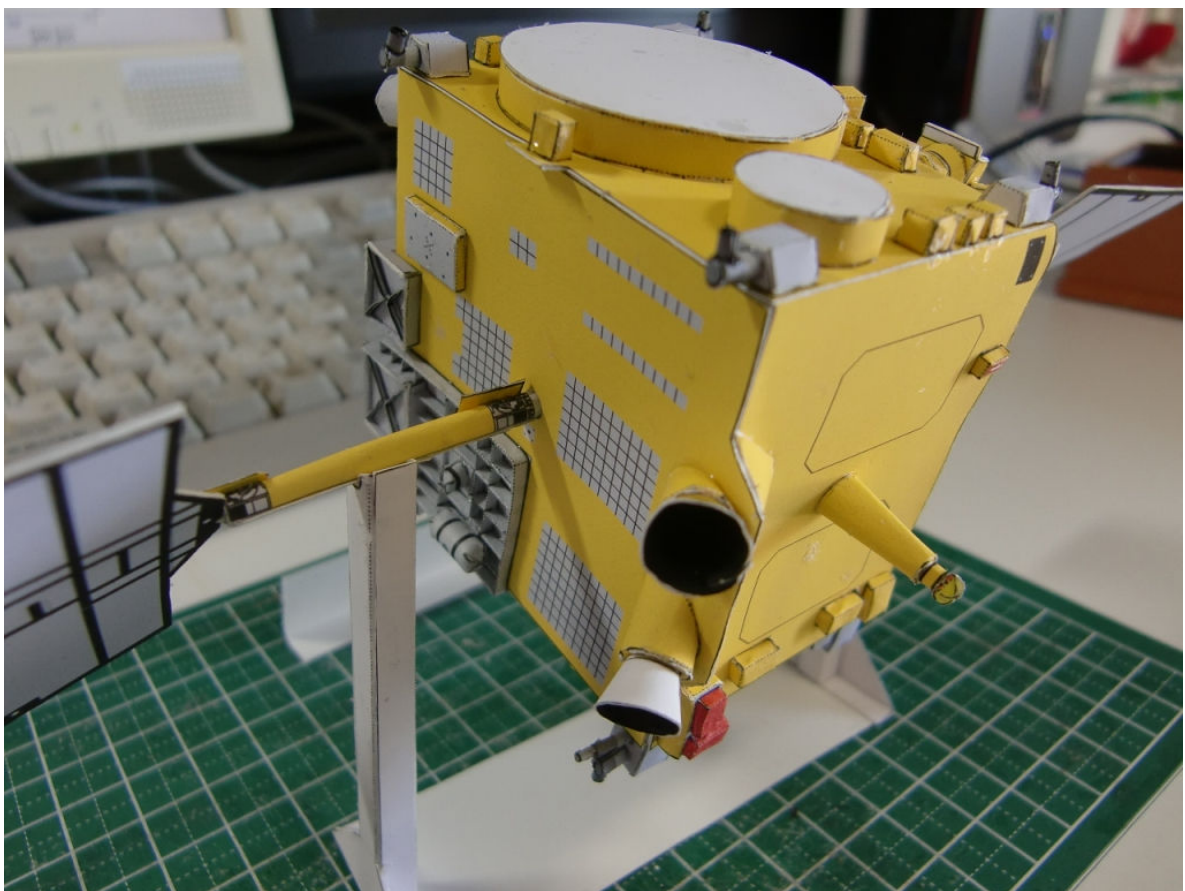
ブログ「ネビュラ-88」 URL: <http://blog.livedoor.jp/hydrangea1987/>

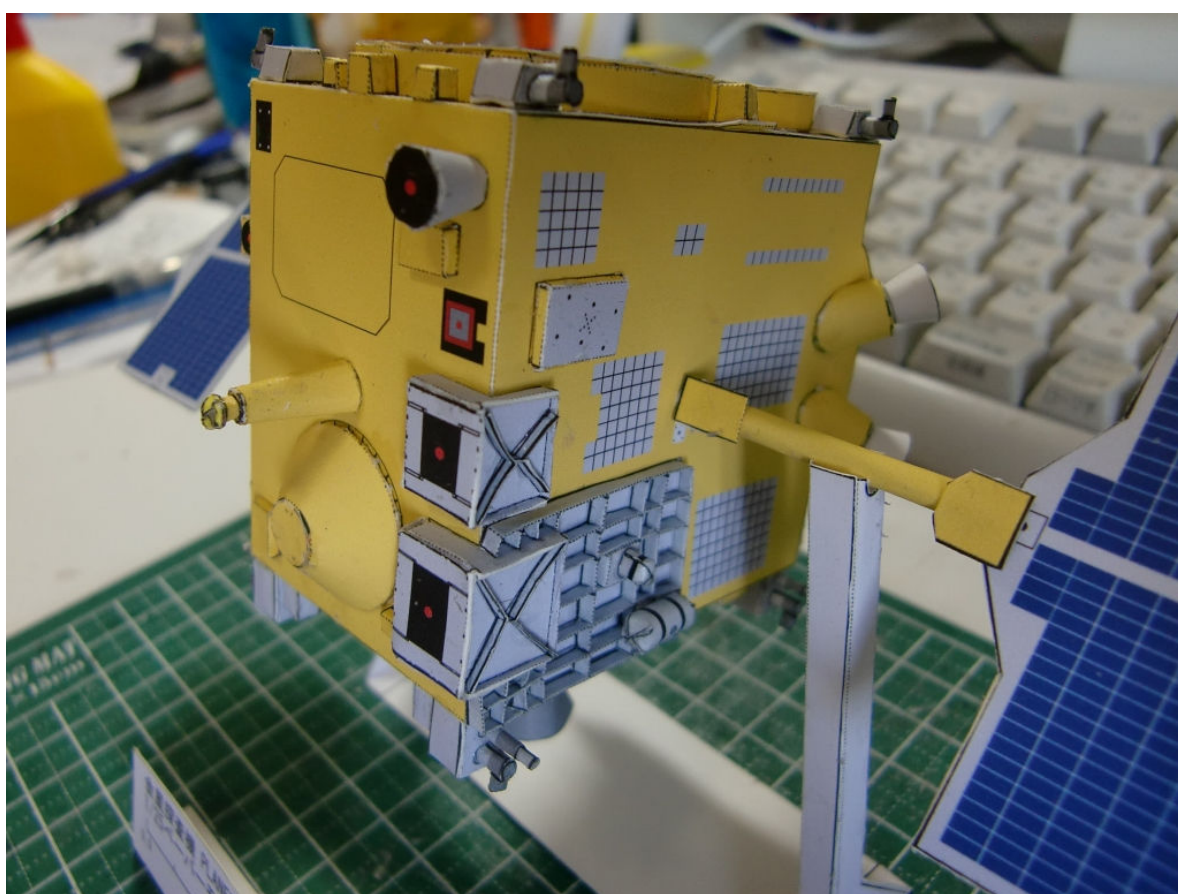
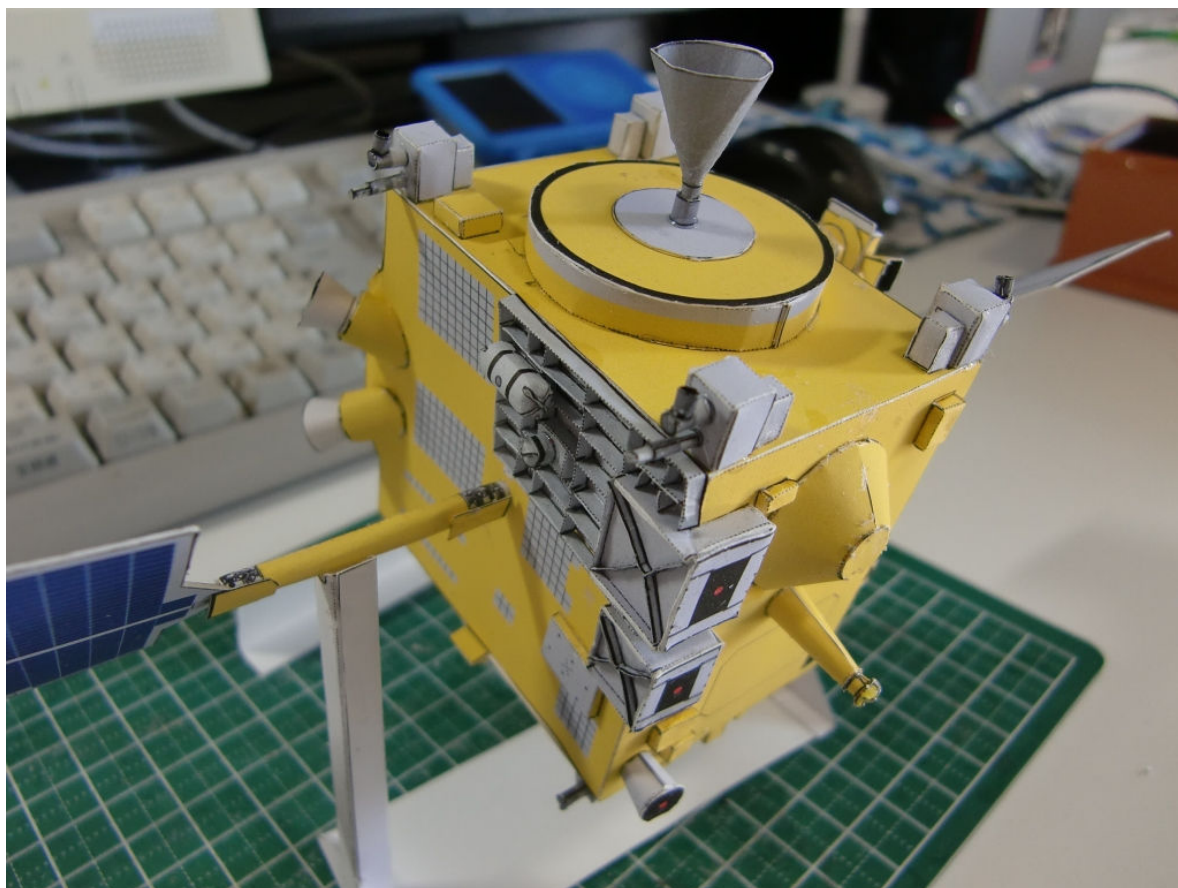
MAIL: hydrangea1987@livedoor.com

5. 謝辞

今回、JAXA 相模原キャンパス特別公開 2012 にて本作品の配布をご提案いただき、実施していただいた宇宙科学研究所・佐藤毅彦教授に厚く御礼申し上げます。

以下、試作品の写真（完成イメージ）を載せておきますのでご参考ください（一部設計を変更した部分があります）。

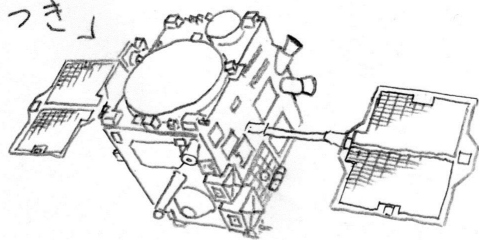




以下，組み立て説明メモです。

金星探査機 PLANET-C 「あかつき」

1/25 ペーパーモデル 組立説明



[01] 構体



折返して裏面同士を
貼合せます。

+Y面、-Y面のX印
を切抜きます。

先に箱状に組立ててしまうと部品を貼付けるとき
裏から押えることができなくなるので、[27-A]の
取付けまで組立てないことをおすすめします。

注) -X面



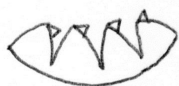
UVI (紫外線イメージャ)

この赤丸はのりしろではありません。

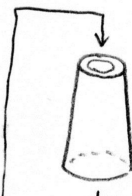
[08] LGA (低利得アンテナ)

[08-C]

半球状にします。



[08-B]



[08-A]

[01]「上」

[10] FSSH (精太陽センサ)

[10-B]



[10-A]



[01]「リ」

[13] STT (スタートラッカ)

[13-A]

切抜きます。



[01]「左」

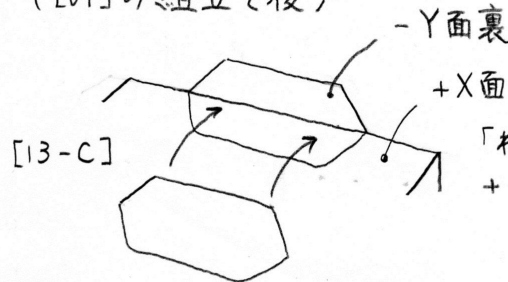
[13-B]

裏面を黒く塗ります。



差込んで接着します。

([01]の組立て後)

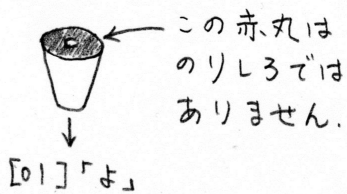


-Y面裏

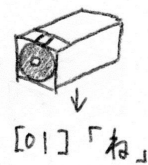
+X面

「わ」と記している方が
+X面側です。

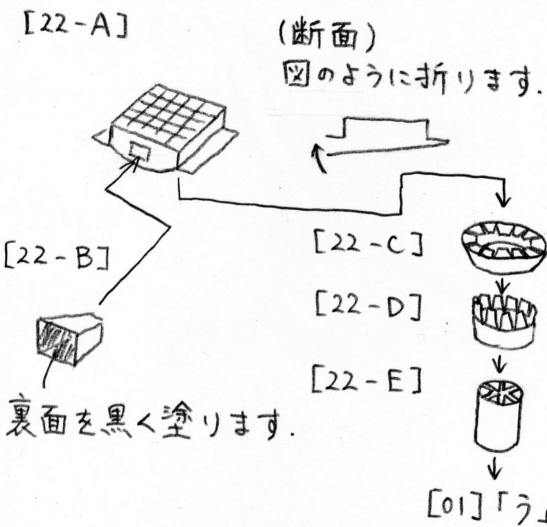
[15] LIR (中間赤外カメラ)



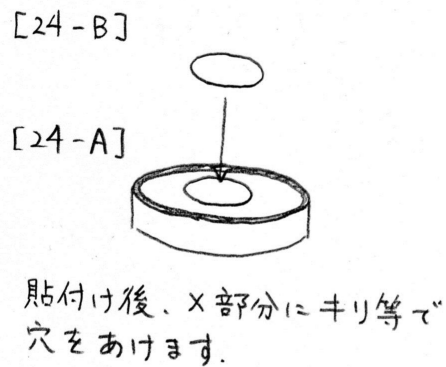
[20] LAC (雷・大気光カメラ)



[22] MGA (中利得アンテナ)

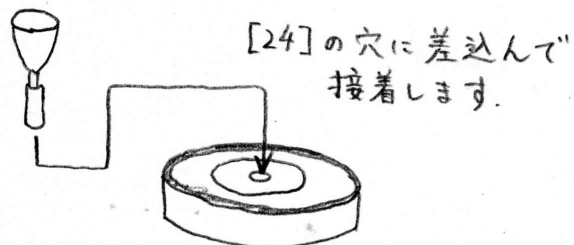
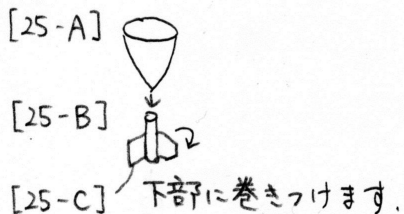
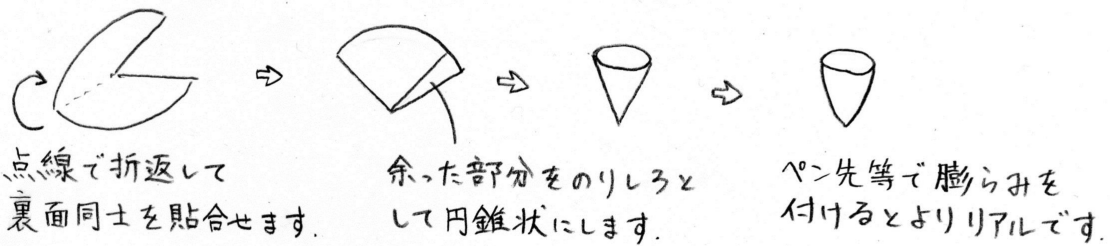


[24] ロケット結合リング



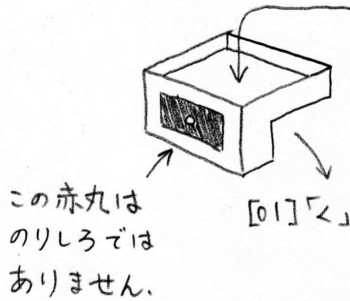
[25] OME (軌道制御エンジン)

[25-A]

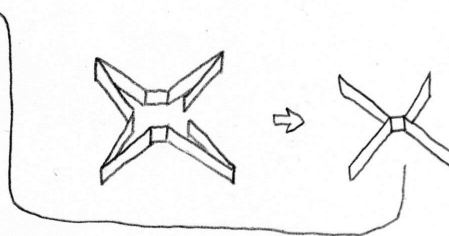


[27] IR1 (1 μ m カメラ)

[27-A]



[27-B]



図のように折って裏面同士を貼合せ、
27-Aの凹部内に木工用ボンド等で
接着します。

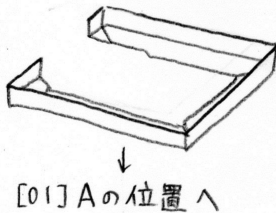
[28] IR2 (2 μ m カメラ) も同様です。

[29] コールドプレート

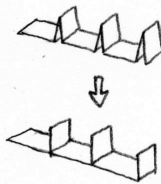
部品が細かく、精度が必要なので慎重に組立ててください。
アルファベット順に貼付けていきます。

部品上のアルファベットは部品 29-O の貼付け位置を示しています。

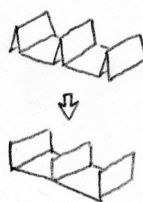
[29-A]



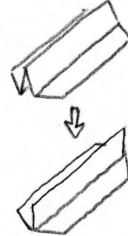
[29-B]



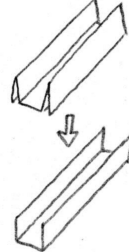
[29-C]



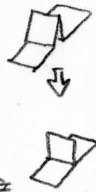
[29-D]



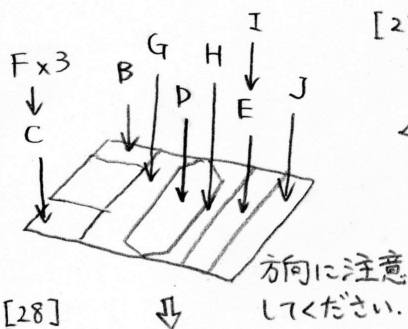
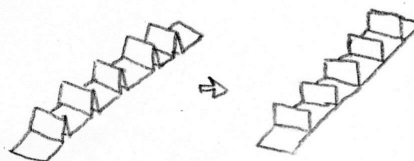
[29-E]



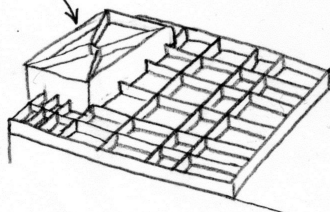
[29-F]



[29-G~J]



[28]



各部品、図のように折って貼合せ、切って大きさを
調節しながら [01] に貼付けていきます。

[29-F~J] は一遍に切取って折って貼合せた後
はさみで切ると楽です。

完成は左図のようになります。

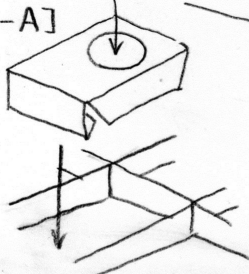
組立てが難しい場合は [29'] で代用も可です。

[30] コンプレッサー

[30-B]

上部アを
半球状にします。

[30-A]



[29-H]「ま」

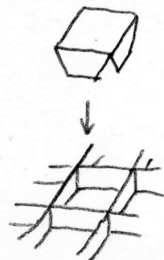
または、
[29']使用
の場合

[30-A]は使いません。

[30-D]



[30-C]



[29-I]「け」

または、
[29']使用
の場合

[30-C]は
使いません。

[31] 23Nスラスト

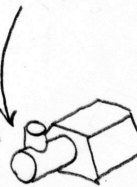
[31-B]

穴に差込んで
接着します。

[31-A]



[04] (4箇所)、
[26] (大径側4箇所)
に差込んで接着します。



(+Z面)



(-Z面)

[32] 3Nスラスト

丸めた後
はさみで
切ると
楽です。



[32-B]

[32-A]

差込んで
接着します。

[26]
(小径側
4箇所)に
差込んで
接着します。

[33] SAP (太陽電池パドル)

[33-A]

裏面同士
貼合せます。



[33-B]

[34] SAPアーム

[34-C]

[34-B]



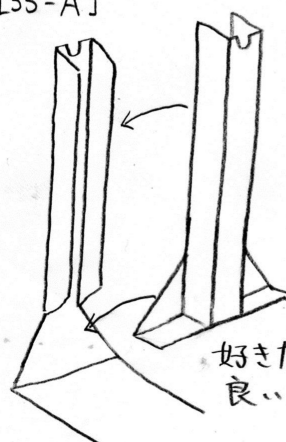
[34-A]

[01] ±Y面の穴に
差込みます。

[35] 飾り台

[35-A]

[35-B]



凹みにSPAアーム
を載せて飾ります。

好きな色に塗ると
良いです。